

FLORA of KOCHI

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

No.47

探してみよう！ 春夏編

スイカズラ属 (スイカズラ科)

Lonicera L.

スイカズラ属 (スイカズラ科) は日本に4節21種が分布し、そのうち高知県にはつる性植物のスイカズラ節と、落葉低木のウグイスカグラ節が確認されています。ただしウグイスカグラについては、四国に分布はありますが、高知県では確かな採集記録がありません。

検索のポイントは、スイカズラ節では、花柄の基部につく苞の形や植物体の毛の有無です。一番普通にみら

れるスイカズラは、葉形や毛の量、花の形に変異が多いため、区別点を覚えておきましょう。ウグイスカグラ節では、花の形や数です。しかし、ヤマウグイスカグラの種内分類群は、毛などの特徴の違いが連続しており、はっきりと区別するのが難しいようです。

近縁種と区別しにくい植物もあるため、花や果実の時期に丁寧に観察してみてください。



ミヤマウグイスカグラ 越知町 4月24日



ハマニンドウ 黒潮町 11月23日



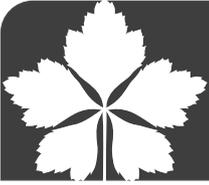
スイカズラ 室戸市 5月9日

表 スイカズラ属の検索

特徴 (検索キー)	開花・結実期	学名・和名	高知県 RL2020			
スイカズラ節 木質の つる性植物	花:5-7 果:9-12	<i>Lonicera japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i> スイカズラ f. <i>chinensis</i> (Watson) H.Hara ベニバナスイカズラ (無毛・花冠外面深紅色) f. <i>flexuosa</i> (Thunb.) Zabel テリハニンドウ (葉の毛が少ないもの)	—			
苞:披針形 果実:紫黒色 種子長:4-5mm	花:5-7 果:9-1	<i>L. affinis</i> Hook. et Arn. ハマニンドウ	—			
葉・花柄は無毛 若い徒長枝の葉は有毛	花:5-6 果:9-12	<i>Lonicera hypoglauca</i> Miq. キダチニンドウ	VU			
ウグイスカグラ節	花:4-5 果:6	<i>L. gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i> ヤマウグイスカグラ	EN			
直立する 落葉小低木	花冠は1個 (まれに2個) 花冠は紅色 (まれに白) 種子長:4-5mm	全体有毛	子房は無毛	花:4 果:6	<i>L. gracilipes</i> Miq. var. <i>glandulosa</i> Maxim. ミヤマウグイスカグラ	EN
	花冠:漏斗状	無毛 (ただし全く無毛のものはない) 葉が広い	子房に腺毛がある	花:4-6 果:6-7	<i>L. gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq. ウグイスカグラ	—
枝は中実、 髄は白色	花は2個 花冠は白 種子長:2.5-3.5mm			花:4-5 果:6-7	<i>L. ramosissima</i> Franch. et Sav. ex Maxim. var. <i>ramosissima</i> コウグイスカグラ	VU
果実:紅	花冠は2唇状 上唇は4裂	種子長:4-6mm、表面は平滑 芽鱗は幅広、しばしば早落する		花:4-5 果:6-7	<i>L. cerasina</i> Maxim. ウスバヒョウタンボク	EN
		種子長:3-4mm、表面はやや粒状の凹凸がある 芽鱗は披針形、宿存性		花:5-6 果:7-8	<i>L. mochidzukiana</i> Makino var. <i>nomurana</i> (Makino) Nakai ヤマヒョウタンボク	EN

【引用・参考文献】

高知県. 2020. 高知県レッドリスト (植物編) 2020年改訂版. 高知県.
 五百川裕. 2017. スイカズラ属. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩 (編). 改訂新版日本の野生植物 5: 417-422. 平凡社. 東京.
 小林史郎. 2009. スイカズラ科. In: 高知県・高知県牧野記念財団 (編). 高知県植物誌 pp. 455-457. 高知県・高知県牧野記念財団. 高知県.
 小林史郎. 2009. 高知県産植物の開花結実期と垂直分布. In: 高知県・高知県牧野記念財団 (編). 高知県植物誌 pp. 723-724. 高知県・高知県牧野記念財団. 高知県.
 中島稔. 2018. スイカズラ属. In: 神奈川県植物誌調査会 (編). 神奈川県植物誌 pp. 1662-1663. 神奈川県植物誌調査会. 神奈川県.



高知県の植物 ニュース

■ 県内調査報告

文・写真：橋本季正

ホソバクセツニンジン *Panax japonicus* (T.Nees) C.A.Mey. var. *angustatus* (Makino) H.Hara

ホソバクセツニンジン（ウコギ科）はトチバニンジンの変種です。高知県では、これまで安芸市、香美市、越知町などで標本が採集されています。トチバニンジンとの区別点は、トチバニンジンよりも小葉が細く、縁が重鋸歯になることがあるところです（写真1・2）。

2021年8月、調査ボランティアの高橋眞起さんと香南市の北部へ調査に行った際、偶然発見しました。本種はトチバニンジンの葉が細いものと誤認されることが多いのではないかと思っていましたが、見た瞬間に「ホソバクセツニンジンだ」とわかりました。それには、標本を確認していたことが役に立ちました。発見した個体は、葉はぼろぼろの

虫食いだらけでしたが、特徴は残っていました（写真3）。生育地は、スギ人工林の林縁部で明るく、草本がやや密に生育しているところでした。幸い周辺で複数個体確認できたため、写真の個体は証拠標本にしました。

本種は高知県レッドリスト2020では絶滅危惧II類（VU）になっていますが、レッドデータブック調査の期間中、過去に標本が採集された地点も含め、私は一度も確認できなかった種類でした。もしかしたら、県内の個体数は考えられているよりも少ないのかもしれませんが。現存する地点で生育環境を保全し、個体を見守っていく必要があります。



写真1 トチバニンジンの標本

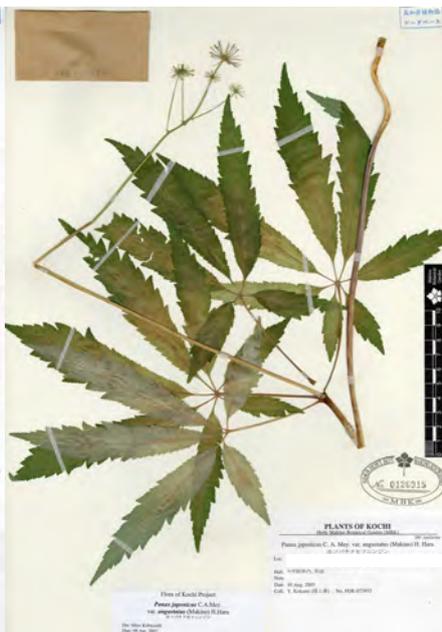


写真2 ホソバクセツニンジンの標本



写真3 ホソバクセツニンジン (2021年8月11日)

【参考文献】高知県、2020、高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版、高知県、小林史郎、2009、ホソバクセツニンジン、In: 財団法人高知県牧野記念財団・高知県（編）、高知県植物誌、p. 355、財団法人高知県牧野記念財団・高知県、高知県。

■ 野生植物分布調査報告

文・写真：田邊由紀



植物分布調査はじまる

多くの県民の方々と協働で調査してつくりあげた「高知県植物誌」が、2009年に発行されてから10年以上が経過しました。その後、新たな産地の発見や分類群の組替えなど、多くの情報が蓄積されてきています。しかしながら、高知県植物誌編纂事業では、県内を19ブロックに分け、ブロック単位で標本の採集を行ったため、市町村単位でみると調査が足りていませんでした。

牧野植物園では、2021年6月に県から委託を受け、県

内の野生植物の分布について調査することになりました。目的は①各市町村の植物リストを作成すること、②各地域で植物に関心を持ち、地域の生物多様性を保全する中心的な役割になる人材を育成すること、の2つです。



調査の進め方

調査は、各市町村で未採集の植物の標本を収集することが目標です。調査開始にあたり、牧野植物園標本庫所蔵標本の情報から、市町村毎の植物リストを作成しました。さらに

このリストを植物誌のリストと照らし合わせ、未採集の種類をまとめたチェックリストを作成しました。このチェックリストで確かめながら標本採集をしています。

2027年度までの間、重点的に調査する市町村(以下、重点調査市町村)を毎年変え、全34市町村を調査する予定です。重点調査市町村では、月1回程度調査日を設けて希望者を募り、事務局スタッフが一緒に調査しています。また、個人やグループの有志によって、特定の分類群や在住市町村の調査も同時に行われています。

令和3(2021)年度の活動報告

本年度は田野町・香南市・土佐町・土佐市・三原村の5市町村を重点的に調査しました。これらの市町村以外での調査も含め、調査にはのべ505名が参加し、1,468点の標本が収集されました(2022年2月末時点、表)。また、分類学セミナーのほか(写真4)、初心者の方や学び直しをされる方のため、さまざまな研修会を開催しました。

標本の採集の方法や必要な情報の集め方、調査票の書き方といった調査方法を学ぶ「調査研修会」、野外で似た種類を見分けるポイントを学ぶフィールド講座をそれぞれ4回行い、のべ123名が参加しました。

フィールド講座は、苦手な方が多いシダ植物のほか、サイズが小さく見落としがちな種類が多い水田の植物、以前から希望が多かった常緑樹を対象に行いました(写真5)。新型コロナウイルス感染防止のため、調査や研修会では人数を制限し、基本的な感染防止対策をとりながら実施しました。

表 令和3(2021)年度の調査結果(2022年2月末時点)

	調査回数	のべ参加人数	採集標本点数
田野町	9	41	180
香南市	58	71	262
土佐町	50	83	228
土佐市	15	32	119
三原村	14	64	141
その他市町村	122	214	538
合計	268	505	1,468



写真6 田野町での調査(2022年2月23日)



写真4 テンナンショウ属の分類学セミナー(2021年5月15日)



写真5 フィールド講座 樹木研修会(2021年12月11日)

令和4(2022)年度の計画

来年度は、室戸市・芸西村・本山町・四万十町・四万十市・土佐清水市の6市町村を重点的に調査します。調査希望市町村については、事前に伺っています。ご希望の市町村で事務局が赴いて調査する際には、日時・集合場所が決まり次第ご案内いたします。

上記の市町村やそれ以外の市町村でも独自に調査をしてくださる方やグループを募集しています。調査を希望する市町村のチェックリストなどの調査資料をお送りいたしますので事務局までご連絡ください。

今年の研修会は、昨年度と同様に調査方法、樹木やシダ植物の見分け方についてのフィールド講座のほか、分類学セミナーも開催予定です(4ページの案内をご覧ください)。

事務局からのお知らせ

牧野植物園ホームページに、野生植物分布調査のページが近日公開予定です。調査マニュアルや調査票、調査報告書がダウンロードできるほか、調査のスケジュールや、調査・研修会の様子を配信していく予定です。

■ 令和4(2022)年度上半期 分類学セミナー・研修会などのお知らせ

上半期の分類学セミナー・研修会を下記のとおり開催します。野外研修会では、植物の調査の仕方や見分けるポイントを学べます。下半期の分類学セミナーは次号でご連絡します。野外に出かけ、植物と一緒に調査しましょう！

【申込先】 メール：事務局 (floraofkochi@makino.or.jp)
電話番号：088-882-2723(事務局直通)
088-882-2673(標本庫直通)
※土日祝日を除く 9:00-17:00
FAX 番号：088-882-8635(代表)

分類学セミナー

バラ科バラ属 (中級) 5月14日(土) 10:00～12:00

講師：御巫由紀 (千葉県立中央博物館資料管理研究科長)
場所：牧野富太郎記念館本館 映像ホール 定員：30名

シダ植物 (初級) 6月11日(土) 10:00～12:00

講師：堀 清鷹 (牧野植物園研究員)
場所：牧野富太郎記念館本館 映像ホール 定員：30名

調査ボランティアガイダンス

4月10日(日) 10:00～12:00

集合場所：牧野富太郎記念館本館 映像ホール
内容：分布調査の説明、植物園の活動紹介、生態園・標本庫の見学。
対象：令和元(2019)年度以降に調査ボランティアに登録された方
定員：30名

初心者のための野外研修会

*参加ご希望の方は必ず事前にお申し込みください。当日の参加はご遠慮ください。

7月31日(日) 10:00～12:00 シダ植物 (講師：堀清鷹) 場所：高知市五台山 定員：15名

内容：植物園内と周辺でシダ植物を観察します。

9月17日(土) 10:00～14:30 落葉樹木 場所：高知市工石山 定員：10名

内容：高知市と土佐町の境にある工石山で落葉樹木を観察します。

10月1日(土) 10:00～12:00 水田の植物 場所：高知市久礼野 定員：10名

内容：耕作後の水田に生える小さな植物をじっくり観察します。

12月3日(土)・11日(日) 10:00～12:00 常緑樹木 場所：高知市五台山 各回定員：10名

内容：植物園周辺で、常緑樹木を観察します。30種を覚えることが目標です。

*調査および研修会については、集合場所などの詳細をご案内しますので、申し込み時に連絡先をお知らせください。

*ボランティア登録者本人は窓口でボランティア登録証をご提示いただくと無料で入園できます。

<セミナー・研修会・調査などに参加される際の注意事項>

- セミナーや研修会中に写真を撮影します。撮影した画像は牧野植物園の年報及び広報媒体等に掲載させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期または中止とする場合があります。
- 参加者の個人情報については、新型コロナウイルス感染拡大の恐れがある場合には、保健所、医療機関、高知県等の公的機関に提供することがあります。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点にご協力をお願いします。
 - ・発熱のある方、せきやのどの痛みなどの症状のある方は、ご参加をお控えください。
 - ・マスクを着用ください。
 - ・こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします(園内では設置の消毒液をご利用いただけます)。
 - ・他の参加者との距離(2m)を確保してください。
 - ・野外であっても話しながらの飲食はお控えください。

特定外来生物防除活動参加者募集

ナルトサワギク防除活動

場所：芸西村琴ヶ浜
日時：6月19日(日) 8:00～10:00
11月21日(月) 10:00～12:00
定員：30名

オオハンゴンソウ防除活動

場所：津野町天狗森林公園天狗池
日時：7月10日(日) 9:00～15:00
定員：20名

*詳しくは同封のチラシをご覧ください。

■ 植物に関する問い合わせ

毎週火曜日(休日の場合はその翌日)に植物研究課の田邊、前田、橋本(季)が高知県の植物の問い合わせに対応しています。写真では同定が難しい種類がありますので、押し葉状態(仮押しでも結構です)にするか、新鮮なうちにお持ちください。

植物に関する全般の問い合わせは、月・水・金の16時から17時まで受付しています(Tel:088-882-2723)。

■ 編集後記

本号では、希少植物調査と今年度始まった野生植物分布調査について報告しました。

No.47の発行担当：前田綾子・田邊由紀・橋本季正